

## 予算決算委員会 厚生分科会 分科会長報告

厚生分科会に委嘱になりました部分について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

承認第4号 専決処分の承認を求めることについて（令和3年度横手市一般会計補正予算（第14号））について、主な質疑を申し上げますと、歳出3款民生費では、「ひとり親家庭等住宅整備事業の継続について」の質疑がありました。

本案について、討論はなく、採決の結果、承認すべきものと決定いたしました。

以上をもちまして、報告を終わります。  
よろしくご審議の程お願いいたします。

## 予算決算委員会 産業建設分科会 分科会長報告

産業建設分科会に委嘱になりました部分について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

はじめに、承認第4号 専決処分の承認を求めることについて（令和3年度横手市一般会計補正予算（第14号））については、質疑、討論はなく、採決の結果、承認すべきものと決定いたしました。

次に、議案第50号 令和4年度横手市一般会計補正予算（第2号）について、主な質疑と答弁を申し上げますと、「3月定例会で、議会は商品券より一律給付が必要だと判断したが、議会の意思が全く尊重されていないと感じる。協議内容を説明してほしい」との質疑に対し、当局より、「3月定例会以降、いただいた様々な意見を踏まえ、抽選による不平等や購入したくても購入できないという不平等に手当てしたものである。全員購入できる数を用意し、1万円ではなく5,000円から購入できるというところを盛り込んだ。また、国から新たなコロナ交付金が内示され、給付案件について検討している」との答弁がありました。

このほか、「経済効果があることは分かっており、プレミアム商品券を否定しているわけではない。早く商品券を発行した方がいいということについては同じ気持ちであるが、市民が平等に恩恵を受ける事業を行ってほしいという3月定例会の修正案可決の重さを理解いただきたい。給付について検討するというが、それには当局との信頼関係がなくてはならない」との意見がありました。

討論では、小野正伸委員より、賛成の立場で、「そもそもプレミアム付商品券事業に反対しているわけではなく、むしろ早期の実現を望んでいる。事業予算の内訳として事務費がかかり過ぎていることに懸念はあるが、議会として3月定例会で修正案を可決した責任を感じており、当局の提案は尊重したい。ぜひ今後、給付型事業を早期に検討し、プレミアム付商品券事業と同時進行できるよう期待してこの案に賛成する」との討論がありました。

本案について起立採決の結果、起立多数により原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上をもちまして、報告を終わります。  
よろしくご審議の程お願いいたします。